

Ⅳ 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立 加茂小 学校

年目	中期経営目標	重点	分類	短期経営目標	目標達成に向けた取組	評価指標	中間評価（10月1日）			最終評価（2月末）				
							□指標に係る取組状況	プロセス評価	達成評価	改善方策	□指標に係る取組状況 ◎短期（中期）経営目標の達成状況	プロセス評価	達成評価	総合評価
2	学びを楽しむ・学びを活かす子ども、夢を語る・自分のことを語る子どもの育成	★	新規・継続	○自分の考えや思い、調べたこと等を自分の言葉や自分の文章で表現することができる。 ○ふるさとについて考え、故郷を大切にすることをもちつていける。	○教材研究にもとづいた「任せ、考える・読む・書く」授業を実践する。 ○毎時間の(自分の考えや思いを)「書く」活動を設定する。 ○年間2枚以上の新聞づくり、新聞を活用した教育活動を行う。 ○地域教材の発掘と実践を積み重ねる。	○「書く」ことにおけるアンケート(児童・授業者)の肯定的解答85%以上。 ○作文コンクールや新聞投稿等への取組回数。 ○地域カリキュラムの実施回数、児童のふるさと学習に対する評価。								
2	安心して楽しく過ごせる、学べる環境づくり	★	新規	○課題解決のため、また学校生活の充実のために話し合いなどを通して考え、実践する学級をつくる。 ○個々の課題をとらえ、組織的に取り組む。	○話し合い活動(学級会)を毎月1回以上実施し、児童とともに、学級活動を充実させる。 ○教職員全員での情報共有と課題解決のための場を設定する。	○学級会等の実施回数。 ○学級活動に対する児童アンケートの肯定的解答85%以上。 ○昨年度比、出席数増加、欠席数減少。								
2	幼児期から中学校への学びをつなぐ幼保小中連携	★	継続	○就学前施設や中学校との交流を行い、授業や学級経営に生かす。 ○幼保小中連携を生かした授業改善を図る。	○授業交流や授業観察を増やし、教職員の交流や対話の場を設定する。 ○「ことば」にこだわる学級経営、授業を実践する。	○幼保小中連携の取組回数。 ○子どもの姿、授業観察を通しての見取り。								
1	教職員が生き生きと働ける職場づくり	★	継続	○仕事に対する満足感や充実感を向上させる。 ○時間と質を意識した業務を推進する。	○教職員の意欲を重視した取組や研修を実現する。 ○メリハリのある勤務時間の遂行	○「仕事にやりがいを感じている教職員」90%以上 ○在校時間外勤務、年間360時間以内								

[プロセス評価の評価基準]

評点	評価基準
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。

[達成評価の評価基準]

評点	評価基準
5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。
4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。
3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。
2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。
1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。

[総合評価の評価基準]

評点	評価基準	
5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。